

1. 科目名（単位数）	更生保護（2 単位）	3. 科目番号	SSMP4101 PSMP4401 SCMP4301 SBMP4301
2. 授業担当教員	森 長秀		
4. 授業形態	講義、集団討議、学生との応答、途中確認テスト・小テストの併用、期末に試験を行う。	5. 開講学期	春
6. 履修条件・他科目との関係	特になし		
7. 講義概要	犯罪や非行をした人の立ち直りを図り、再び犯罪や非行を起こさせないようにするには、その素質、環境を考慮しつつ、その人に必要な各種の支援、福祉でいう自立支援が必要である。これらの支援は、警察、検察、裁判、矯正の各段階で行われているが、本科目では、この内の社会の中での働きかけ（処遇）を中心とする更生保護制度について、その概要、担い手、関係機関・団体との連携、また、心神喪失等の状態で重大な犯罪を行った人の社会復帰の促進を目的とする医療観察制度の概要、さらには、更生保護制度の運用の実態と今後の展望等について学習する。		
8. 学習目標	1 福祉との関連において必要とされる更生保護制度の基礎的知識について理解し、説明することができるようになる。 2 更生保護の組織を中心に、刑事司法・少年司法分野で犯罪前歴者等の支援活動に関与する組織、団体及び専門職について理解し、説明することができるようになる。 3 更生保護制度における関係機関・団体との連携のあり方について理解し、説明することができるようになる。 4 保護観察所が担う新たな役割として、福祉機関・団体などとの密接な連携の下に実施される被害者支援や医療観察制度について理解し、説明することができるようになる。 5 更生保護の運用の実態と今後の展望について考察し、自分の言葉で表明することができるようになる。		
9. アサシメント（宿題）及びレポート課題	講義内容の理解度をはかることや次回講義への問題意識を高めることを目的として、リアクションペーパーの提出（遠隔の場合は送信による）を求めるほか、簡単な確認テスト（随時）をおこなう。		
10. 教科書・参考書・教材	新・社会福祉士シリーズ 19「刑事司法と福祉」 森長秀・浅沼太郎編集（弘文堂）		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. レポートや論文の書き方に関する基礎的、基本的事項を理解し、説明できるか。 2. 分かりやすい表現方法や明瞭かつ論理的な文章を作成する力がついたか。 ○評定の方法 [授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。] 1 授業への積極的参加 総合点の 2 0 % 2 期末試験 総合点の 4 0 % 3 課題レポート 総合点の 2 0 % 4 日常の学習状況 総合点の 2 0 %		
12. 受講生へのメッセージ	おおむね下記の内容に沿って講義形式でおこなうが、テーマによっては、受講者の意見を求めるなど、双方向的な講義を展開したい。担当者と一緒に講義を作るような積極的な意識を持った受講者を歓迎する。 また、国家試験において必ず高得点を取るという高い目標と意欲をもって受講してほしい。		
13. オフィスアワー	講義曜日の講義前後の休憩時間および昼休み		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	ガイダンス、授業の進め方、評価の方法、社会福祉士国家試験の概要	事前学習	シラバスを読んで、学修内容の全体像をイメージする。
		事後学習	本日学んだ部分（教科書、ノート、配布プリント）をよく読み、復習する。
第 2 回	「更生保護と社会福祉」 司法福祉という領域 刑事手続きの概要（20 歳以上・20 歳未満） 更生保護法制	事前学習	学修内容を確認し、教科書第 1 章の該当ページを読んでおく。
		事後学習	本日学んだ部分（教科書、ノート、配布プリント）をよく読み、復習する。
第 3 回	「更生保護制度の概要（1）」 更生保護法の制定と意義 更生保護の手続と内容① 仮釈放等の概要	事前学習	学修内容を確認し、教科書第 2 章の該当ページを読んでおく。
		事後学習	本日学んだ部分（教科書、ノート、配布プリント）をよく読み、復習する。
第 4 回	「更生保護制度の概要（2）」 更生保護の手続と内容② 保護観察官と保護司の身分と職務	事前学習	学修内容を確認し、教科書第 2 章の該当ページを読んでおく。
		事後学習	本日学んだ部分（教科書、ノート、配布プリント）をよく読み、復習する。
第 5 回	「更生保護制度の概要（3）」 犯罪の予防と犯罪被害者の支援	事前学習	学修内容を確認し、教科書第 3 章の該当ページを読んでおく。
		事後学習	本日学んだ部分（教科書、ノート、配布プリント）をよく読み、復習する。
第 6 回	「更生保護制度の概要（4）」 更生保護制度の担い手 更生保護制度における関係機関・団体との連携	事前学習	学修内容を確認し、教科書第 4・5 章の該当ページを読んでおく。
		事後学習	本日学んだ部分（教科書、ノート、配布プリ

			ント)をよく読み、復習する。
第7回	「更生保護制度の概要（5）」 矯正施設と処遇	事前学習	学修内容を確認し、教科書第6章の該当ページを読んでおく。
		事後学習	本日学んだ部分（教科書、ノート、配布プリント）をよく読み、復習する。
第8回	「少年の刑事司法手続き」 20歳未満の者の刑事手続き 少年法の概要 少年法の改正	事前学習	学修内容を確認し、教科書第3章の該当ページを読んでおく。
		事後学習	本日学んだ部分（教科書、ノート、配布プリント）をよく読み、復習する。
第9回	「犯罪と刑罰に関する法（1）」 犯罪の種類と定義 個人法益をおかす罪・社会法益をおかす罪・国家法益をおかす罪 刑法改正の内容	事前学習	学修内容を確認し、教科書第1章の該当ページを読んでおく。
		事後学習	本日学んだ部分（教科書、ノート、配布プリント）をよく読み、復習する。
第10回	「犯罪と刑罰に関する法（2）」 刑罰の種類と内容 刑法改正の内容	事前学習	学修内容を確認し、教科書第1章の該当ページを読んでおく。
		事後学習	本日学んだ部分（教科書、ノート、配布プリント）をよく読み、復習する。
第11回	「犯罪と刑罰に関する法（3）」 犯罪の成立要件 構成要件・違法性・有責性 医療観察制度への導入	事前学習	学修内容を確認し、教科書第1章の該当ページを読んでおく。
		事後学習	本日学んだ部分（教科書、ノート、配布プリント）をよく読み、復習する。
第12回	「医療観察制度の概要（1）」 医療観察法の制定と意義 医療観察制度の手続と内容①	事前学習	学修内容を確認し、教科書第7章の該当ページを読んでおく。
		事後学習	本日学んだ部分（教科書、ノート、配布プリント）をよく読み、復習する。
第13回	「医療観察制度の概要（2）」 医療観察制度の手続と内容② 社会復帰調整官の身分と役割	事前学習	学修内容を確認し、教科書第7章の該当ページを読んでおく。
		事後学習	本日学んだ部分（教科書、ノート、配布プリント）をよく読み、復習する。
第14回	更生保護における近年の動向と課題	事前学習	学修内容を確認し、教科書第8章の該当ページを読んでおく。
		事後学習	本日学んだ部分（教科書、ノート、配布プリント）をよく読み、復習する。
第15回	講義全体のまとめと振り返り 国家試験科目としての内容の総括	事前学習	学修内容を確認し、教科書第1章の該当ページを読んでおく。
		事後学習	本日学んだ部分（教科書、ノート、配布プリント）をよく読み、復習する。
期末試験			